

群馬大学医学部保健学科・大学院保健学研究科の取り組みをご紹介します！

群馬大学医学部保健学科及び大学院保健学研究科では、社会の課題解決を目指して、研究、教育、地域保健活動、国際保健活動に積極的に取り組んでいます。これらの活動を進めるための組織として保健学研究科附属研究・教育センターが設置され、このセンター内には国際保健推進室、地域保健推進室、高度専門職養成推進室、多職種連携教育推進室、保健学研究推進室の5つの推進室があります。今回より、それぞれの推進室と高度保健学人材開発センターの活動を定期的にNEWS LETTERとして報告いたします。

ぜひ、私たちのさまざまな活動をご覧いただき、ご意見をお聞かせください。

医学部保健学科長・保健学研究科長挨拶

私たちは、「**社会の発展に貢献する保健学のリーダーの育成**」に力を入れています。

本学は、活発な国際交流、学生を中心に考えた教育、充実した研究環境、地域に根差した社会貢献、WHO認定のチーム医療教育があり、「世界をリードする保健学の教育研究機関」を目指しています。

大学院修士課程（博士課程前期）50名を誇る全国屈指の保健学の大型大学となっています。専門の研究力養成に加え、**グローバル、データサイエンス、多職種連携・地域連携**に力を入れています。



1) 国際保健推進室

海外留学

医学部保健学科には、看護学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学の4つの専攻があり、国際社会で活躍する人材の育成に取り組んでいます。

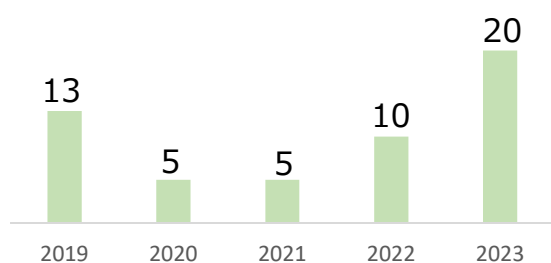
【2023年度の主な活動】

活動	時期	相手先など	参加人数	動画
キャンパスの国際化	週3回	昭和English Cafe	706 (61回/年)	
	毎週	Student Interprofessional Education Committee	120 (25回/年)	
	2024/01	English Cafe New Year Party	50	
学生派遣	2023/09	モンゴル国立医科学大学	6	
	2024/03	仁済大学（韓国）	4	下のQRコード
		フィリピン大学	10	下のQRコード
学生受け入れ		ワシントン大学（アメリカ）	3	
	2023/07	モンゴル国立医科学大学	9	
		09	フィリピン大学	5
		モンゴル国立医科学大学	2	
	10	モンゴル国立医科学大学（10か月）	4	
	11	春海保健大学（韓国）	4	
	2024/01	亀尾大学・光州保健大学（韓国）	30	
オンライン	2023/12	フィリピン大学	1	
	2024/03	シンバイオシス大学（インド）	6	

主にアジア地域において、「専門職の社会的役割」と「多職種連携」をテーマとした交流を中心に行っています。今後、キャンパスの国際化に向け、優れた留学生の戦略的獲得に一層取り組んでいきます。

研究留学生

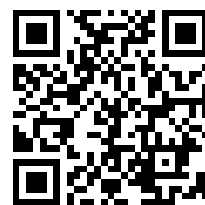
保健学研究科には、2023年10月現在20人の留学生在籍し、日本の全人的医療・高度専門医療について学んでいます。



保健学研究科留学生数

活動紹介

推進室のHPを通して最新の活動を紹介しています。ぜひアクセスしてみてください。



<https://kokusai.health.gunma-u.ac.jp>

2) 地域保健推進室

今年度も学生サポーター養成 コースを開催しました



学生保健サポーターになるためには、学生サポーター養成コースに参加する必要があります。今年度も10月から12月まで、7回の講義、演習を実施し、看護学専攻15名（うち1名は大学院生）、検査技術科学専攻4名の19名と多くの学生が参加、全員、修了しました。学生はボランティアなどの講義に真剣に耳を傾け、演習の回では本当に楽しそうに参加していたのが印象的でした。今後は学生保健サポーターとしてまちなか交流サロンなど様々な課外活動に参加してサポーター養成コースで学んだことやスキルを活かしてもらえればと思います。

まちなか交流サロンを開催しました

2024年2月に「群大保健学まちなか交流サロン」を前橋市若宮地域の公民館で開催しました。今回は、看護学専攻1・2年生のサポーター7名による企画・運営のもと、お話タイム、歌、ゲーム、体操、エコバッグ作成を行いました。お話タイムは時間になっても話が尽きず、参加された方から、最後に「楽しかった」「また来てね」等の言葉をかけていただくなど、当日は14名の参加者の皆さんと10名の保健推進員の皆さんを交え、楽しいひと時を過ごしました。



修了生ネットワーク交流会を開催しました

2024年2月に「大学院修了後の研究・大学との関わり」というテーマのもと、3名の修了生から大学院で行った研究を職場の業務改善に繋げた取り組み、業務で忙しい中で効率的に研究に取り組むための工夫や便利ツールの紹介、同門会を通じた、共同研究の取り組みなどが報告されました。次に齋藤研究科長から「保健学研究科ができる支援」として同窓会組織の再編、研究者ネットワークの創設、研究者助成制度、研究費申請や研究情報の支援の構想が報告されました。終了後も熱心に意見交換が行われました。参加者から、刺激をもらった、励みになる等の感想が寄せられました。



3) 高度専門職養成推進室



Websiteはこちら

<https://gununi.health.gunma-u.ac.jp/>



高度専門職養成推進室では主に2つの事業を展開しています。

I. 「群馬大学看護発 看護研究実践統合センター」の企画運営

「看護研究を応用した高度看護実践により、地域に安心の輪を広げます」をモットーに運営しています。

事業目的は、以下のとおりです。

1) 本学の看護学研究者の研究による高度看護実践研究データバンクを構築し、エビデンスのある看護実践のための情報発信地とする。

2) 本学の大学院を修了した専門看護師等の臨床看護師による高度実践看護師のネットワークを構築し、患者・利用者・家族に質のよいケアを提供する。

II. 履修証明プログラム構築準備

実践における研究力を高め、実践で研究活用できる人材を育成するために、看護師、作業療法士、理学療法士、臨床検査技師などを対象に、履修証明プログラムを構築しています。



海外の講師による講演会も開催！



臨床ナースと一緒に開催した研究相談会



←G7群馬高崎デジタル・技術会合では認知症ケアのICTを河野デジタル大臣に説明（看護技術をPR）

2023年度の実績

3回の講演会、1回の交流集会（日本EOLC学会）を行いました。3月にも1回、講演会予定です。また、9月28～29日に開催された、第70回北関東医学会総会では、「群馬大学看護発 看護研究実践統合センターの取り組み」についてシンポジウムを行いました。また、同学会でリカレント教育の研究も発表し、北関東医学会総会優秀発表賞を受賞しました！これからも、研究を臨床にどんどん広めていきます！

4) 多職種連携教育推進室

群馬大学多職種連携教育 (IPE : Interprofessional education) トレーニングコース

2023年8月23から25日にかけて、IPEトレーニングコースを実施しました。本コースの目的はIPEプログラムを開発・改善であり、マレーシア、フィリピン、ベトナム、韓国、モンゴル、インドネシア、タイの7カ国より21名の参加者がありました。



翻訳事業

多職種連携教育推進室は、群馬大学多職種連携教育研究研修センター（WHO協力センター）が2020年より開始したWHO書籍等の翻訳事業の支援を行っております。

2023年度はGlobal Competency Framework for Universal Health Coverage（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジのためのグローバル・コンピテンシー・フレームワーク）の翻訳を行いました。



学生組織の活動

(SIPEC : Students Interprofessional Education Committee)

多職種連携教育推進室では学生組織であるSIPECの活動支援を行っております。2023年度は、韓国からの留学生へのインタビューを通して、胃癌患者における多職種連携について学び、韓国留学生も交えて発表を行いました。

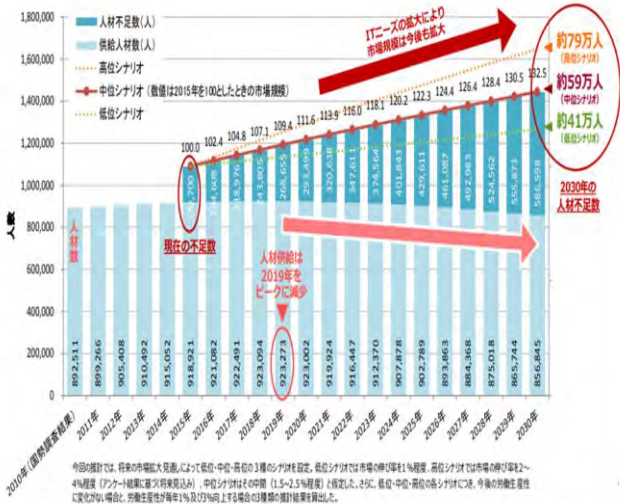


5) 高度保健学人材開発センター

保健医療IT人材不足

保健の分野では、医療、介護、検診、食事など様々なビッグデータが存在します。保健医療職は、これらのビッグデータを活かした住民の健康増進や予防医学に貢献することが求められています。

しかしながら、データを十分に活用ができる保健医療人材（IT人材）は育成できていません。地域のニーズを理解し、自ら、保健事業を行える高度保健人材の育成は急務です。

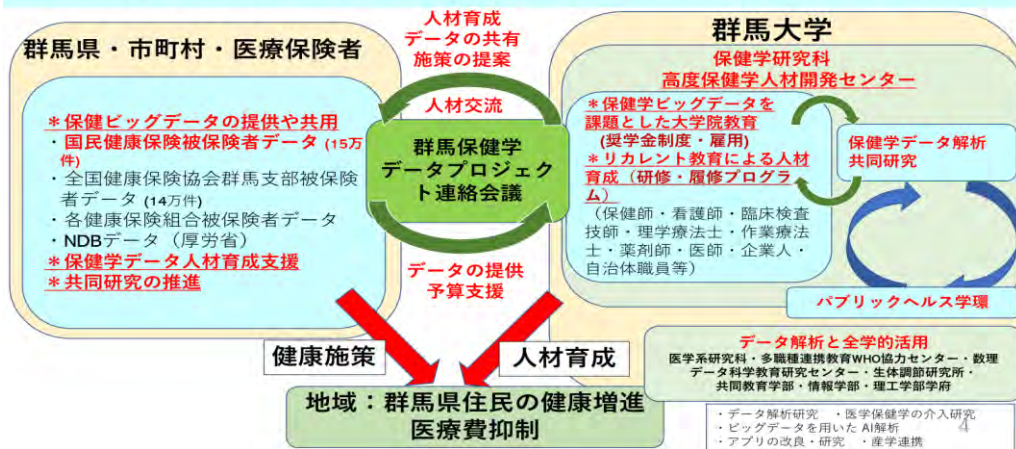


【出典】経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 「IT人材育成の状況等について」

日本のデータ人材（IT人材）

高度保健学人材開発センター

データ解析と人材育成を支援する高度保健学人材開発センター



群馬県、市町村、医療保健者が保有する保健学データ（保険データ等）の提供と人材育成支援を受け、群馬県と連携しながら、実践的な保健学人材育成を目的として、2022年に、保健学研究科に「高度保健学人材開発センター」を設置しました。健康寿命の延伸と健康格差の縮小を大きな目標としています。

高度保健学データプロジェクト連絡会議

連絡会議では、群馬県、市町村代表（市代表、町村代表）、全国健康保険協会群馬支部、群馬県国民健康保険団体連合会、群馬大学大学院医学系研究科、保健学研究科が一同に集まり、プロジェクトの方針・計画及び評価、データ解析に基づく、群馬県民の健康の保持増進対策、保健医療従事者向け研修等人材育成等の協議を行います。

